

令和6年1月12日

第1回「みんなの建築大賞」への協力について

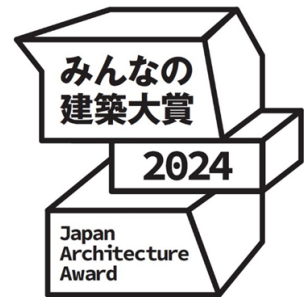
文化庁は、「建築文化に関する検討会議」の提言を受け、我が国の建築物の文化的価値に関する認識を高めるとともに、その価値を発信するために、「みんなの建築大賞」推薦委員会（※）が実施する「みんなの建築大賞」に協力していきます。

※建築系の編集者や建築史家など有志約30名で構成。委員長は五十嵐太郎 東北大学大学院教授が務める。

1. みんなの建築大賞について

概要

市民が世界に誇る我が国の魅力的な建築を知る機会を提供すべく、メディアを介して確実に社会に発信され、またSNSによって選考過程自体が自然拡散される新たな賞として創設。みんなの建築大賞推薦委員会主催。



選考方法

前年中に完成・発表された建築の中から、推薦委員会が世の中に向けて“熱く”伝えたい建築10件を選定のうえ「この建築がすごいベスト10」として発表。その中から「X（旧 Twitter）」上で一般からの「いいね」の数が多いものを「みんなの建築大賞」として発表。

日程

- ・ 令和6年1月29日（月）「この建築がすごいベスト10」発表
- ・ 同 2月11日（日）まで「X（旧 Twitter）」にて一般投票
- ・ 同 2月15日（木）「みんなの建築大賞」発表・大賞授与式

発表方法

以下のSNS等で情報を発表

- ・ X（旧 Twitter） : <https://twitter.com/minnanokenchiku>
- ・ BUNGA NET : <https://bunganet.tokyo/>
- ・ TECTURE MAG : <https://mag.tecture.jp>

備考

「みんなの建築大賞」授与式でのインタビューや上位受賞建築の詳細等については、BUNGA NET 及び TECTURE MAG に掲載するが、転載自由として国内外への発信を推進する。

その他詳細については <https://bunganet.tokyo/award01/> を参照。

2. 文化庁としての協力内容

広報および大賞授与式への協力

大賞授与式概要（予定）

日 時：令和6年2月15日（木）14時～

場 所：国立近現代建築資料館（東京都文京区湯島4-6-15）

3. その他

文化庁「建築文化に関する検討会議」は、世界的に評価の高い我が国の建築とそれを含んだ風景に関し、文化的「資産」としての価値を再認識するとともに、再活用することを推進するため、文化庁国立近現代建築資料館が設置。

開催日程

令和5年3月～5月

会議委員（五十音順・敬称略）

石井 リーサ 明理	照明デザイナー
隈 研吾	建築家
後藤 治	学校法人工学院大学 理事長
佐々木 葉	早稲田大学理工学術院 教授
佐藤 主光	一橋大学教授・政府税制調査会委員
鈴木 京香	俳優
西尾 洋一	Casa BRUTUS 編集長
堀川 斉之	大成建設株式会社設計本部シニア・アーキテクト
三浦 展	株式会社カルチャースタディーズ研究所代表取締役 社会デザイン研究者
山崎 鯛介	東京工業大学博物館副館長・教授

会議概要

<https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/kondankaito/kenchikubunka/index.html>

<担当> 文化庁企画調整課

課 長 寺本 恒昌

担当者 伊野、久保、山口、三輪

電 話：03-5253-4111（内線4791）

メー ル：bunkichou@mext.go.jp